

令和3年度（2021年度）第1回東海市地域公共交通会議会議録

○会議の名称 令和3年度（2021年度）第1回東海市地域公共交通会議

○開催日時 令和3年（2021年）6月25日（金）

午前10時から午前11時30分まで

○開催場所 東海市役所302会議室（3階）

○出席委員 佐治錦三（会長）、山口清（副会長）嶋田喜昭（議長）、
荻本正久、天野朝之、小林裕之、佐野達郎、久野兼幸、
片桐真砂子、濱屋卓義、大里美栄子、望月俊二、
秋山和子、成田順一、坂野常夫、加古久夫、山内三奈、
盛林克浩、横山和彦、久保田英男、澤木徹、大西彰

○欠席委員 豊田信昭、高橋時光、湯浅一成

○事務局 総務部長、危機管理監、交通防犯課長、同統括主任、同主任2人

○傍聴者の数 1人

○議題及び審議の概要

1. 開会のことば

2. 会長あいさつ

（会長）市では、65歳以上の高齢者の新型コロナワクチン接種を7月までに終える予定で進めている。現在、6割以上の方が1回目の接種を終えている。併せて、国が求める11月までに接種を希望される方全ての接種を終えることができるように、組織改正をして対応している。このような情勢の中、地域交通も大きな影響を受けているが、昨年10月に循環バスのダイヤを改正し、朝夕ダイヤの設置やバスロケーションシステムの導入をする等、改善に努めている。市内の公共交通をより良いものとするため、委員の皆様にはそれぞれの立場から、建設的な御意見をお願いしたい。

3. 委員自己紹介

事務局より座席表にて紹介

4. 副会長、議長及び監事の選出について

設置要綱第5条第3項に基づき、山口清委員を副会長に会長指名。同条第5項

に基づき、嶋田喜昭委員を議長に会長指名。第10条第1項規定に基づき大里美栄子委員及び秋山和子委員を監事に会長指名。

5. 報告事項

(1) 地域公共交通会議について

事務局及び中部運輸局愛知運輸支局による「地域公共交通会議」についての説明。

(2) 令和2年度（2020年度）第3回会議録の確認について

(3) 令和2年度（2020年度）第4回書面協議の結果報告について

(4) 循環バスの利用状況等について

事務局による資料1～資料3の説明

(議長) 利用者数が新型コロナウイルス感染症の影響で、前年の約7割程度となっているが、他の市町村でも同じ状況である。

(委員) 新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数が落ちている中で、今後ダイヤの減便等は考えているのか。

(事務局) 現在、減便等は考えていない。

(議長) 今は我慢の時期と捉え、ダイヤも改正したばかりなので減便等はせずに様子を見ていく。

(議長) 無料で乗車している高齢者の方は何割くらいいるのか。

(事務局) 4割程度となっている。

(議長) 新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いてきたら、通勤通学等で朝夕ダイヤを利用する人が増えることを期待したい。

(5) 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について

事務局及び愛知県交通対策課による資料4の説明。

(委員) 期待する取組の中で、バスロケーションシステムの導入とGTFS化についてはどのようになっているのか。

(事務局) バスロケーションシステムについては、昨年度導入済みであり、GTFS化については既に済んでいるが、データのGoogleへのアップロードがまだ済んでいない。時期については未定である。

(委員) 準備が整い次第、広報等で周知を図ってほしい。

(議長) GTFSがオープンになると、アプリ等での検索が可能になるため、利用

者にとっては大変便利になるため、期待したい。

(委員) 近隣市町との連携した取組は何か考えているのか。

(事務局) 今後、養父森岡線の開通や、知多市の健康増進施設が会館した際には、大府市及び知多市への乗り入れを考えている。

(6) 障害者手帳アプリの取り扱いについて

(7) タクシーを活用した新型コロナウイルスワクチン接種者の輸送について

事務局による資料5、資料6の説明

(議長) 予約状況はどのくらいなのか。

(事務局) 6月18日現在で66人の方が予約されている。

(議長) 他の市町でもこのような取組をしているのか。

(事務局) 他市町でも、バスやタクシーを活用した輸送を行っている。

6. 協議事項

(1) 令和2年度(2020年度)東海市地域公共交通会議決算書について

事務局による資料7の説明

(委員) 負担金の中に知多市からの負担金が入っているのはなぜか。

(事務局) 西知多総合病院内にあるバスロケーションシステムを知多市と共同利用しているため、保守費用を両市で負担しているからである。

(議長) 負担割合はどのくらいなのか。

(事務局) 立地割と人口割により、昨年度については東海市が162,070円、知多市が76,630円負担している。

<議長による承認採決>

(一同) 承認

(2) 令和3年度(2021年度)東海市地域公共交通会議事業計画案について

事務局による資料8の説明

(委員) 令和7年からフィーダーの補助要件に地域公共交通計画の策定が入ってくるが、計画の策定予定はあるのか。

(事務局) 令和4年度に調査業務を委託し、令和5年度策定に向けて準備を進めていく。

(議長) 現在は東海市地域公共交通網形成計画に基づいて事業を推進しているが、令和7年からは新しい地域公共交通計画を策定し、新しい計画に

基づいて事業を進めていかないと補助がもらえないということなので、来年から計画策定に向けて動き出すということでしょうか。

(事務局) はい。

<議長による承認採決>

(一 同) 承認

(3) 令和4年度(2022年度)生活交通確保維持改善計画案について

事務局による資料9の説明

(委員) 事業の目標値について、令和2年度実績が大幅に落ち込んでいる中、新型コロナウイルスの影響を受ける前の計画に基づく目標値設定でよいのか。その場合は、「新型コロナウイルスの影響により目標値を見直すことがある」等の追記をしてはどうか。

(事務局) 追記させていただく。

<議長による承認採決>

(一 同) 承認

(4) 東海市公共交通網形成計画の推進について

事務局による資料10の説明

(委員) 8年間の計画の中で、4年目に中間評価をするとあるが、実際にどのような評価を行ったのか。

(事務局) 事務局において簡単な分析を行い、計画の推進時の参考に行っている。

(委員) バスの乗り方教室は、小学生だけでなく、高齢者の移動手段の確保の観点からも高齢者向けの教室も検討すべきではないか。

(議長) 高齢者の方が免許返納前に実際にバスに乗って体験するということは大変重要で、体験することでバスへの不安がなくなり、免許返納の決断につながることもある。

(事務局) 検討していく。

(議長) 現在、どのくらいの小学校で乗り方教室を実施したのか。

(事務局) 平成29年からの4年間で、12校中6校で実施した。

(委員) 横断歩道や交差点付近のバス停での安全確保のため、乗り方教室でバス停の直前直後での道路の横断禁止、バスの車体の大きさによる死角の話をしてほしい。

(議長) 教室では誰が説明しているのか。

(事務局) 説明は事業者である知多乗合株式会社さんをお願いしているので、今年度の実施の際には説明に加えていただく。

<議長による承認採決>

(一同) 承認

(5) 東海市循環バス北ルート系統①第2便の運行経路の一部変更について
事務局による資料11の説明

<議長による承認採決>

(一同) 承認

7. 閉会のことば

東海市地域公共交通網形成計画の推進

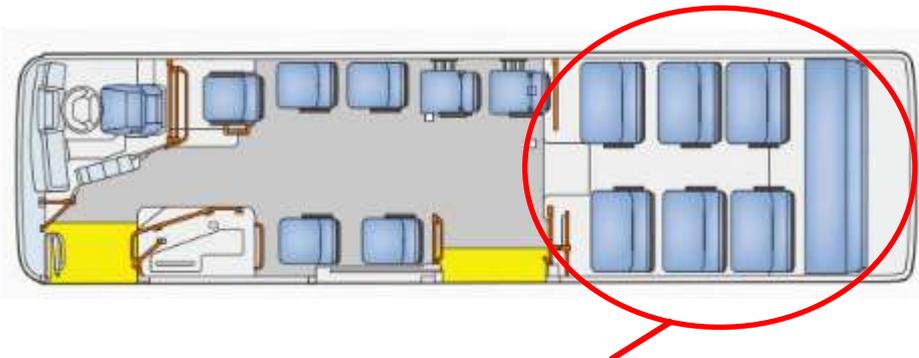
基本方針 3：公共交通を使った活発な交流を促進する仕組みづくり
目 標 7：公共交通を使った高齢者の外出促進
施 策 13：公共交通を利用したくなる取り組み
実施事業 2：らんらんバス車内でのイベントの検討・実施

●事業内容

循環バス6台のうち、中ルート「さつきちゃん」号2台の後部座席の広告掲出箇所に、市内園児が描いた絵画作品を展示し、親子や祖父母の利用を促進するもの。

●実施時期等

令和3年（2021年）7月30日（金）～9月末日
横須賀保育園園児作品の展示



QRコード決済の実施について

1 報告内容

国が公共交通機関の維持・活性化等を進めることを目的に、新たなモビリティサービスである Maas (Mobility as a Service) の普及を進めており、その基盤づくりの一つに「QRコード決済等の導入」を掲げている。循環バスにおいても、利用者の支払い手段の拡充としてQRコード決済の導入を実施するもの。また、QRコード決済については、車内での回数券販売にも対応していくものである。

2 開始時期

令和3年(2021年)9月1日から

3 運賃収入への影響

決済手数料として3%程度必要となるため、利用者1,000人につき、3千円程度の運賃収入減となるもの。

4 取扱い決済種類(9月1日現在)

Paypay、au Pay、Alipay、We Chat Pay、LINE Pay、d払い、メルペイ
楽天ペイ、J-Coin Pay

累計利用者 500 万人達成記念事業について

1 内容

循環バスの累計利用者数が令和 3 年 9 月頃に 500 万人に達成する予定であることから、達成した際に広く市民に周知するとともに、利用者に対して記念品を配布するもの。

※ 7 月末現在：累計 4,965,204 人
(500 万人突破まであと 34,796 人)

2 周知方法

- (1) 広報掲載
- (2) 市役所市民ホールに横断幕を設置
- (3) 循環バス前方にバスマスクを設置
- (4) 循環バス車内にて記念品の配布（フリーザーバッグ：1,000 個）

3 記念品配布方法

1 日限定で循環バス車内の最前列に記念品を置き、降車時に一人一つずつ取ってもらうように運転手からアナウンスしてもらい、配布するもの。

4 参考

- (1) 100 万人突破：平成 21 年（2009 年）3 月 25 日（記念事業実施なし）
- (2) 200 万人突破：平成 25 年（2013 年）7 月 10 日
 - ・らんらんバスボックスティッシュ配布（1,000 個）
 - ・バスマスクの設置
 - ・横断幕の設置（太田川駅前ロータリー）
- (3) 300 万人突破：平成 28 年（2016 年）8 月 10 日（記念事業実施なし）
- (4) 400 万人突破：平成 30 年（2018 年）12 月 5 日
 - ・横断幕の設置（市役所市民ホール）

東海市地域公共交通会議会に係る書面報告の結果について

自由意見

ご意見	回答
累計利用者数500万人達成記念事業は達成した日の翌日に行うのか、達成が予測される日に行うのか。	記念品の配布は500万人達成した日の翌日に実施する予定でしたが、9月12日(日)に達成したため、9月14日(火)に実施いたしました。
QRコード決済がスムーズになるよう、座席等にもQRコード一覧を用意し、事前に支払い準備ができるようにするとよいと思う。	運行事業所において、乗務員がQRコード決済を希望する乗客にQRコードを読み取らせ、支払画面を案内するよう操作研修が行われており、事前に誤って支払う等のトラブルを防ぐため車内の掲示はしないものとさせていただきます。
資料1(議事録)について「令和7年からフィーダーの補助要件に地域公共交通計画の策定が入ってくるが」とあるが、正確には「令和7年度事業」なので修正してほしい。	ご指摘のとおり修正いたします。
資料4(QRコード決済)について、費用対効果がどの程度期待できるかは、新型コロナウイルスの影響等もあり予測は難しいと思うが、QRコード決済の実施による利用促進の点も考慮してほしい。	循環バス車内でのQRコード決済が可能である旨のチラシの掲示、東海市及び知多乗合株式会社のホームページへの記載、循環バス時刻表への追加記載、広報紙への掲載等、実施しており、今後も利用促進を図ってまいります。
資料4(QRコード決済)について、運送収入への影響について手数料による減収に言及しているが、循環バスはフィーダー補助を受けているの	既にQRコード決済を導入している知多乗合株式会社の独自路線での利用実績を参考に算定したところ、9月から3月の7箇月間の想定利用者数は約500人となるため、今

<p>で、補助対象経費が増える場合、補助金への影響も出てくるが、この点はどのように対応するのか。(昨年度の実績に基づくと、仮に全員がQRコード決済した場合、手数料は90万円程度)</p>	<p>年度の手数料は1,500円(1回3円)を見込んでおります。 そのため、市としては補助金に大きな影響はないものと考えております。</p>
<p>緊急事態宣言の発令中で、感染防止が大変だと思うが、市民の足として運行の継続をお願いしたい。</p>	<p>今後、循環バス車内の抗菌処理(概ね1年程度抗菌効果が持続するもの)やマスク着用や消毒の徹底をお願いするステッカーの掲示を予定しており、安心・安全に利用できる環境を整えて運行してまいります。</p>
<p>新型コロナウイルスの影響で、利用者数は減少しているが、不便さの中で時間の都合を調整し、努力して通院・買い物の際に利用している。今より減便などされた場合、高齢者にとって不便になり、自力で通院・買い物が出来なくなるので、これ以上の減便は考えないでほしい。</p>	<p>現在のところ、新型コロナウイルス感染症対策としての減便は考えておりません。</p>
<p>累計利用者数500万人達成記念事業について、1日限定にすると、利用頻度が多い人でも受け取れないことがあるので、日数を延ばすことはできないか。</p>	<p>記念品の数量から、1日限定とさせていただきました。</p>
<p>高齢者の運転免許証の自主返納が増加し、公共交通機関の重要性が叫ばれる中、高齢者がスムーズに利用できる福祉タクシーやらんらんバスの充実をお願いしたい。</p>	<p>らんらんバスの充実を図るため、市民アンケート調査等を行い、利用者の需要に沿ったダイヤ編成に努めてまいります。</p>